

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2005-232312(P2005-232312A)

【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2004-43226(P2004-43226)

【国際特許分類】

C 0 9 K	17/10	(2006.01)
C 0 4 B	7/19	(2006.01)
C 0 4 B	7/32	(2006.01)
C 0 4 B	22/08	(2006.01)
C 0 4 B	22/14	(2006.01)
C 0 4 B	28/08	(2006.01)
C 0 9 K	17/02	(2006.01)
C 0 9 K	17/06	(2006.01)
C 0 4 B	111/70	(2006.01)
C 0 9 K	103/00	(2006.01)

【F I】

C 0 9 K	17/10	P
C 0 4 B	7/19	
C 0 4 B	7/32	
C 0 4 B	22/08	Z
C 0 4 B	22/14	B
C 0 4 B	28/08	
C 0 9 K	17/02	P
C 0 9 K	17/06	P
C 0 4 B	111:70	
C 0 9 K	103:00	

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月6日(2006.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

高炉スラグ微粉末及びポルトランドセメントからなるブレーン値が8000~15000 cm²/gの微粒子セメント(a)と、アルミナセメント(b)及びブレーン値が5000 cm²/g以上のII型無水石膏(c)を含んでなる土質安定用薬液であって、質量比 b : c = 3~23 : 97~77及び (b + c) / (a + b + c) = 10~35% の範囲で水懸濁液として用いることを特徴とする土質安定用薬液。

【請求項2】

高炉スラグ微粉末およびポルトランドセメントからなるブレーン値が8000~15000cm²/gの微粒子セメント(a)と、アルミナセメント(b)およびブレーン値が5000 cm²/g以上のII型無水石膏(c)を含み、質量比 b : c = 3~23 : 97~77及び (b + c) / (a + b + c) = 10~35% の範囲で配合された混合物を、水と混練して地盤内に注入することを特徴とする地

盤安定化工法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、第二の発明は、「高炉スラグ微粉末およびポルトランドセメントからなるブレーン値が8000~15000cm²/gの微粒子セメント(a)と、アルミナセメント(b)およびブレーン値が5000 cm²/g以上のII型無水石膏(c)を含み、質量比 b : c = 3~23 : 97~77及び(b + c) / (a + b + c) = 10~35% の範囲で配合された混合物を、水と混練して地盤内に注入することを特徴とする地盤安定化工法。」を要旨とする。